

様式第3号(第13条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度第4回朝霞市男女平等推進審議会
開催日時	令和7年12月11日(木) 午前10時～午前11時
開催場所	朝霞市役所4階401会議室
出席者 出席者の職・氏名	出席者 委員13名(小島委員、片山委員、根上委員、渡辺委員、井ヶ田委員、 金子委員、久慈委員、小柴委員 栗山委員、土佐委員、島根委員、 武田委員、山里委員) 事務局5名(西内総務部次長兼人権庶務課長、石井人権庶務課長補佐兼男 女平等推進係長兼女性センター所長、熊谷主任、吉田主任、 埼玉りそな産業経済振興財団 青木主任研究員)
欠席者 欠席者の職・氏名	欠席者無し
議題	・市民意見交換会及び市民コメントの結果について(報告) ・第3次朝霞市男女平等推進行動計画(案)について ・その他
会議資料	次第 資料1 市民意見交換会報告書 資料2 市民コメント集計結果 資料3 第3次朝霞市男女平等推進行動計画(案)
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年) 電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間 <input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月 会議録の確認方法 会長・副会長による確認
傍聴者の数	傍聴者0人
他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

◎ 開会

- ・出席委員数報告
- ・会議公開及び傍聴希望者の確認
- ・配付資料の確認
- ・栗山会長到着まで金子副会長が議事進行

◎議事1 市民意見交換会及び市民コメントの結果について(報告)

○事務局(吉田)

では議事1、市民意見交換会及び市民コメントの結果について御報告いたします。まず、資料1を御覧ください。第3次朝霞市男女平等推進行動計画素案に対する市民意見交換会結果報告書となっております。1ページにありますとおり、市民意見交換会は、第3次朝霞市男女平等推進行動計画素案に関する周知や市民の声を聞く機会とするため、10月12日、日曜日と、10月15日、水曜日の2日間、開催いたしました。1回目の10月12日は、午前10時から正午まで、中央公民館コミュニティセンター展示ギャラリーにて、2回目の10月15日は、午後5時から8時まで産業文化センターギャラリーにて、オープンハウス形式で実施いたしました。2日間の参加人数は28人で、男女内訳は女性14人、男性14人でした。また、20歳未満の参加者が男女合わせて17人おり、若い世代の声を聞くことができました。

意見・感想として、「DVに困ってる人が意外にもいて驚いた。」「男女平等の世界を目指したい。」「朝霞市の取組について知れてよかったです。」などの声をいただきました。3ページ4ページに、原文のまま載せておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

なお、いずれも既に基本施策や政策の方向に盛り込んでいる事柄でしたので、特に計画案の修正はいたしません。例えばDVについては、基本施策2パートナーや身近な人からの暴力の根絶で、男女平等については、基本施策1、ジェンダー平等の推進で取り上げています。

続きまして、資料2を御覧ください。第3次朝霞市男女平等推進行動計画(素案)に関する市民コメント集計結果です。こちらは第3次朝霞市男女平等推進行動計画に位置付ける施策の体系、めざす姿、現状と課題等に対する御意見を市民の方から募集したものです。募集期間は、10月21日、火曜日から11月19日、水曜日の30日間で、市役所市政情報コーナーを始め、図書館・各公民館などの他、市ホームページにて周知し、御意見を募りましたが、意見提出者は0名でした。事務局からは以上です。

○金子副会長

ありがとうございました。資料1、市民意見交換会報告書、資料2、市民コメント集計結果の説明をいただきました。ただいまの説明を踏まえた上で、御質問や御意見を伺いたいと思います。何かございますでしょうか。

【意見なし】

◎議事2 第3次朝霞市男女平等推進行動計画(案)について

○事務局(熊谷)

では、議事2の第3次朝霞市男女平等推進行動計画(案)について御説明いたします。今回の資料3が、ほぼ最終的な案というような形で出させていただいております。市民コメントや市民意見交換会、職員コメント等の御意見も含めまして、今回の計画案は出させていただいてお

ります。前回お出ししていなかった資料編につきまして、少し説明をさせていただきたいと思います。資料編は、71ページからになっております。72ページを御覧ください。計画策定の経過ですが、令和7年7月にこどもモニターを実施しておりますので、追加修正させていただきたいと思っております。

続きまして、74ページを御覧ください。ここには審議会委員の方の名簿を掲載させていただいております。御確認をお願いいたします。

続きまして、75ページから114ページまでは法令関係になっております。101ページを御覧ください。今回新たに内包された、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律、いわゆる困難女性支援法が追加掲載されております。

次に115ページから121ページまでは、男女共同参画関連の年表となっております。

最後に122ページから126ページまでが、用語解説になっています。用語解説の中で、新たに追加させていただいた用語なのですが、122ページのアウトリーチ、朝霞市パートナーシップ・ファミリーシップ制度、123ページに移りまして、アンコンシャス・バイアス、生命の安全教育、カスタマーハラスマント、困難女性支援法、124ページの政治分野における男女共同参画の推進に関する法律、それから性的指向及びジェンダーアイデンティティーの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律、略してLGBT理解増進法というものになっております。これらが新しく追加させていただいた用語になります。

次に、事務局の方で前回の審議会から、一部変更させていただいた箇所について御説明いたします。

61ページを御覧ください。61ページの下の指標なのですが、地域社会活動に参加している市民の割合について、指標の目標値があると思います。前回の素案のときは、目標値を41%と提示させていただいたのですが、今回の計画案では45%と引き上げさせていただきました。理由といたしましては、当初県の目標値が、令和8年度に41.5%を目標としていましたので、同程度となるようにということで設定したのですが、本市の計画は、10年後の目標値ということもありますので、少し高めに設定をし直させていただいて、45%と変更いたしました。

次に、事前に行われました府内連絡会議で出た意見について、少し説明させていただきます。34ページの図表に関するところで、体裁の調整などの指摘がありましたので、直させていただく予定です。それから、34ページに星印がついているのですが、星印の説明がなかったので、そちらの修正をさせていただく予定にしております。ちなみにこの星印は、第2次朝霞市男女平等推進行動計画後期基本計画の策定に伴って、新たに目標設定をしたものとなっております。

もう一つ、第1章の構成について指摘がありました。目次の第1章を御覧ください。5番目に、第2次朝霞市男女平等推進行動計画後期基本計画策定後の社会経済状況の変化がありますが、4番のめざす姿と変えた方がいいのではないかという意見がありました。めざす姿と、基本目標、基本施策は、まとまった形で掲載する方が見やすいのではないかという意見でしたので、今後、4番と5番は入れ替えさせていただこうと事務局の方では考えております。

続いて、今後の計画策定のスケジュールについて、御説明をさせていただきます。

本日御審議いただきました後に、最終的な修正を加えまして、来年の1月6日、政策調整会議にかけさせていただき、1月19日の庁議を経まして、2月の審議会にて確定版の計画として御報告をさせていただければと思っております。その後、3月に公表というスケジュールとなっております。事務局からは以上です。

○金子副会長

ありがとうございました。それでは、ただいま資料3、第3次朝霞市男女平等推進行動計画(案)の御説明をいただきましたので、御説明を踏まえた上で、御質問や御意見を伺いたいと思います。どなたかいらっしゃいませんでしょうか。

以前から、何度かこの審議を進めてきた内容ではございますので、いろいろな角度から見

て、法律的にも良くできてきていると思っています。作成にあたりまして、事務局の皆様も本当に御苦労があったと思います。そして、素晴らしい行動計画になったと私は思いますが、いかがでしょうか。

山里委員お願ひします。

○山里委員

男女平等が国会等でも、いろいろと審議されるようになっても、なかなか難しい問題です。ということはそれだけ重要な課題であると認識しています。権限権利義務の3面等価で考えると、昔風で言うと、主人が仕事に行って、奥様が家庭を守るという時代では今はですから、それぞれの能力をシェアして行う時代です。従いまして、男女平等を積極的に推進するためには、今的方法で積極的に、市のスタッフとかあるいは議員の方とか市民の方が参加して進めていただきたいと思います。

○金子副会長

はい。ありがとうございました。どなたか他にいらっしゃいますでしょうか。

武田委員どうぞ。

○武田委員

ずっと目を通させていただいて、資料3の25ページ、全従業員に占めるパート・アルバイトの割合があります。いわゆる男女不平等の原因の根底というのは、女性の経済的な自立がなかなか男に比べてちょっと低いというか、経済的な問題があると思います。非正規雇用と正規雇用の問題というのは重要です。朝霞市のこの調査を見ると、令和元年度に対して、ともにパート・アルバイトの割合、いわゆる非正規雇用の割合が上がっています。参考までに国の割合を調べたら、そんな大きく変化していない。なだらかに上昇したり、コロナ禍の影響とかもあって下降する地域もありました。この朝霞市の事情というのは特有なものなのか、それとも朝霞市経済がちょっと弱体化して、正規雇用の比率が低下しているのか、その辺何か事務局の方で分析しておられますか。ちょっと気になるデータだったものですから。

○金子副会長

ありがとうございます。事務局お願ひいたします。

○事務局(石井)

ありがとうございます。詳細な分析は正直なところちょっと難しいところなのですが、ただ朝霞市の状況としては、皆さんも御存知かもしれません、子育て世帯が多い、比較的若い市です。ですので、子育てしながら働いている、パート等をされている方が多い傾向なのかと考えております。以上です。

○武田委員

そうですね。非正規は必ずしも悪いわけではなくて、生活に合わせて自ら選択することも考え方ですし、それから不本意で非正規で働いていることもあります。ですから、その辺の分析は重要なと思いますが、子育てのためにあえて非正規を選ぶというのも朝霞はあるのかなと思いまして、それであるとすればちょっと納得するところはあります。

○金子副会長

他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。ちょっと私からお聞きしたいのですが、26ページの年々男性の方の育児休暇が増えているのですが、企業の場合は育児休暇を取りますと、月のお給料が少し減らされるみたいなことを伺ったんですが、公務員の場合はいかがなんでしょうか。

○事務局(石井)

自分の経験で申しますと、市職員の場合、共済組合という保険の方から、6割ぐらいの支給があったように記憶しております。

○金子副委員長

ありがとうございます。どなたか他にいらっしゃいますでしょうか。

素晴らしく出来上がっておりますので、皆様了解していただけますでしょうか。

【異議なし】

それでは続いて議事3、その他について事務局より説明をお願いいたします。

◎議事3 その他について

○事務局(石井)

事務連絡として、まず今後のスケジュールについて御説明させていただきます。本日の会議を持って計画案についての御審議が一通り終わります。これを踏まえまして府内の手続に入らせていただきたいと思います。年を改めて1月に、市長を始めとした市の幹部職員が参加する会議に、今日いただいたお話等を踏まえて最終案ということで挙げさせていただきます。そちらで審議し、最終的に3月に正式な計画として公表を予定しております。これまで御審議いただきまして、ありがとうございました。また会議録の作成まで何かございましたら、事務局に御連絡いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

続きまして、女性センターで行っているセミナーの御案内になります。こちらは、1月2月に予定しているセミナーについてのお知らせです。1回目が1月8日木曜日、2回目が2月5日木曜日となっています。今回は参加型のライブ感あるセミナーという、従来と違う形で開催したいと考えております。いずれもテーマは、家族のあり方となっております。日中と夜間とそれぞれ時間帯を設定させていただきましたので、御都合が合いましたら、御参加いただければと思います。申込制になっていますので、御参加いただけるようでしたら、御連絡いただければ幸いです。以上です。

○金子副会長

何か御質問等ありますでしょうか。山里委員。

○山里委員

今年女性問題等の講座があって、申込みの手續をしましたが、男性はNGだったんです。当然ものにもよるとは思いますが、当市でも、男女平等が一つの重点項目になってるので、可能な限り講座等においては、男性も参加できるような配慮をお願いできればと思います。

○事務局(石井)

御意見ありがとうございます。市で計画しているセミナーは、基本的には男女関係なく皆さん御参加いただけるセミナーとなっておりますので、ぜひ御参加いただければと思います。

○金子副会長

他にありますでしょうか。武田委員。

○武田委員

先ほど、男女平等の本筋とは違うので話さなかったのですが、計画案をざっと読んでDVにかなり多くの部分を割いています。おそらく、皆さんも感じていると思うのですが、やはり大きな問題だと思います。男女平等とはちょっと離れますか、次のテーマとして、高齢化、認知機能低下によるDVというのを、別部門で朝霞市としても検討していくべきテーマなのかなと感じております。それからもう一点、今後はテクノロジーを悪用したDVなんかが絶対増えると思っております。AIを利用してなりすまし、いろいろな形でじわじわと真綿で首を絞めるようなDVとか、いろんな形での男女不平等というのが出てくるんじゃないかなと危惧しています。おそらく10年以内にはその辺が顕著になってくると思うので、いろんな角度から検討していく必要性があるのかなと思っています。

○金子副会長

ありがとうございました。事務局の方も御検討をお願いいたします。どうぞ武田委員。

○武田委員

これはもう重箱の隅をつつくようで恐縮ですけど、31ページの、下から3分の1ほどのところ

にあるSOGIのGIの後にEが抜けてるんじゃないかなと思って、単純な誤字かと思うのですが、念の為すみません。

○事務局(熊谷)

今御指摘のあった、31ページのSOGIになっている部分ですが、これは、第2次の後期基本計画を振り返るページとなっていて、後期基本計画策定時はSOGIという表記にしているため、そのまま掲載させていただいている。第3次の計画では Expression(性表現)が入っている形にしています。

○武田委員

表現の問題ですか。私も用語集で調べて、意味があつてあえてEが抜けているのかなと考えたんだけど、ちょっとわからなかつたです。他のページでは表現ってなつています。それをあえてこの部分では表現がないと、性自認で終わつてはいる。表現という部分が抜けているのがEということですね。

○事務局(熊谷)

確かに第3次のときは性表現まで入つていて、第2次のときは性的指向、性自認で終わつてはいる。第2次のときはこれで始めてしまつてはいるところがあつたので、そのままの表記になつています。

○武田委員

朝霞市に限つたことではなく、ちょっと概念が変わつたということですか。

○事務局(熊谷)

そうですね、時代とともに移行しているところはあるのかなとは思いますが、ただ、このページに関しては、振り返りのページになつてはいるので、文言は後期基本計画のときを使つていたものをそのまま使つてはいる形になつています。ですので、そこは検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○武田委員

このとおりでいいってことですね。

○金子副会長

それでは、武田委員よろしいですか。

○武田委員

はい。ありがとうございます。

○金子副会長

山里委員お願ひします。

○山里委員

DVの件で、物が割れる音がしたときには、近隣の人が前向きな意味において警察に通報するとか、今現在、市としてどれくらい踏み込んで連携しているのかちょっと話せる範囲内で教えてくれますか。

○金子副会長

それでは事務局、お願ひいたします。

○事務局(石井)

市の、DV対応の体制ということでよろしいでしょうか。対応に関しては、基本的には御相談をいただいて、それを受けて対応という形となります。こちらから積極的に動くと被害者が二次被害を受けてしまう可能性もあるので、気を付けなければならぬところです。DVは加害者がそばにいる場合、被害者と接触することで、さらなる被害を受けることがあります。そのため、こちらからはなかなか動きづらいという性質の相談業務になります。最近の相談事業は、複雑化・多様化した問題もあります。例えば、先ほどのお話しにもありました、高齢者で認知機能の低下から意識的ではなく暴力を振るってしまうということもございますので、そういう多様化している問題に対しましては、DVの庁内ネットワーク、また外部関係機関の関わるネットワークを

女性センターは持っておりますので、そちらと連携しています。高齢者ということであれば長寿はつらつ課が府内では関わっておりますので、そういう部署と事例ごとによく連携して、対応しているような状況になります。以上です。

○山里委員

　　はい。よくわかりました。

○金子副会長

　　ありがとうございました。

○栗山会長

いろいろと活発な御意見ありがとうございます。それでは、本日の議事はこれで全て終了ということになります。円滑な運営に御協力いただきまして、誠にありがとうございます。

最後に、今回の議事録の手続につきましては、私と副会長に一任していただきたいと存じますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【全員了承】

　　はい。ありがとうございました。

○事務局(石井)

　　ありがとうございました。以上をもちまして令和7年度第4回朝霞市男女平等推進審議会を閉会とさせていただきます。お忙しい中御出席いただきありがとうございました。

閉会